江東区洪水ハザードマップ

保存版

浸水の時間

洪水氾濫による浸水、排水の想定条件

■荒川において、想定し得る最大規模の降雨により、水が河川の堤防を越えた場合や、堤防が壊れた場合を想定しています。

■洪水氾濫で市街地などに溜まった水は、排水施設（排水機場・ポンプ所など）により河川・運河へ排水することを想定しています。

■排水施設が浸水した場合や、備蓄している燃料が無くなった場合は、排水が出来なくなることを想定しています。

浸水継続時間の凡例

- 2週間以上の区域
- 1週間～2週間未満の区域
- 3日～1週間未満の区域
- 1日～3日未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 12時間未満の区域

※色覚障害のある人へ配慮した配色としています。
※色合いを変えたものを江東区ホームページに掲載しております。

凡例（洪水）

- カメラ設置箇所
- 水位観測所
- 川の防災情報

■避難先
- 主な公共施設
- 地盤が高い・浸水しない区域・公園・広場がある

■水害時、特に危険となる箇所
- 家屋倒壊等氾濫想定区域（流速が大きく、木造家屋が倒壊する恐れがある区域）
- アンダーパス

アンダーパスとは周辺より低く水が溜まりやすいため注意が必要な箇所

避難する時の留意点

情報収集しましょう
ラジオ、テレビ、インターネットで最新の情報に注意しましょう。

避難の呼びかけに注意を

動きやすい格好がお勧めです

落ち着いて避難しよう
避難情報を確認したら、落ち着いて行動しましょう。

足元に注意！
浸水しているため足下の危険が分かりにくくなっています。足下を確認しながら避難しましょう。

万が一、逃げ遅れた場合には
ご自宅か、最寄りの公共施設において想定される水深より高い場所に避難しましょう。

令和元年台風第19号通過後の荒川様子
（北区、岩淵水門付近　10月13日13時頃　約A.P.+7.01m
（氾濫危険水位よりも約70cm低い状況））

おおよその距離と時間を測ってみよう

1000m

江東之助ゆるキャラクター「コトミちゃん」

1000m歩くのに、15分が目安です。

1000m歩くのに必要な時間は、おおよそ15分が目安です。ただし、渋滞の発生や、ご自身の体力により、さらに時間が必要な場合があります。おおよその距離を測り、必要な時間を把握し、余裕を持った避難を心がけましょう。

荒川水系 荒川洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）

作成主体　：国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所
指定年月日：平成２８年５月３０日

対象とした降雨
荒川流域の 72 時間総雨量　632mm

1：25,000
0　0.25　0.5　1　1.5　2 km

改訂年月：令和７年６月　印刷物登録番号（７）１１号
編集発行：江東区土木部 河川公園課 TEL：03（3647）2538／総務部 危機管理室 防災計画課 TEL：03（3647）9587

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 地形図を利用して作成したものである。（承認番号）31 都市基交著第 160 号、（承認番号）31 都市基交著第 216 号